

令和6年度6月号



雨の中、しっとりと
じゅくじゅくとかがイル

算数・数学チャレンジクラブだよ!

(公財) 金沢子ども科学財団

〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号

Tel076(221)2061 Fax076(221)2062

e-mail kodomokagaku-oubo@kanazawa-city.ed.jp

算数・数学チャレンジクラブの予定が順調に進んでいます。初めて出会う他校のクラブ員とお隣さんになって、思い切って話しかけてみてお互いの意見を交換して仲良くなるという光景が見られています。たくさんのクラブ員で話し合っ、切磋琢磨し前向きに考え「算数する心」「数学する心」を磨き、算数・数学を楽しみましょう。

今後の予定表

回	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
3回	6月15日(土) A組 プログラミング B組 ルービックキューブ	6月8日(土) A組 二進数サイコロ B組 ポリドロン	6月16日(日) 午前 中3のみ 音楽と数学 6月23日(日) 附属高校生と交流講座 (一般中学生の参加あり) 中1 魔法陣と数学 中2 天秤問題 中3 数式変形	④6月9日(日)
	6月16日(日) 算数オリンピックトライアル大会 14:00~15:30 ★検定に参加できるのは申込済のクラブ員ですが、 検定料 5,250円を持参すれば当日参加も可 です。 ・受付 13:30 ~ 13:45 ☆申込者の受験要項は6月上旬に郵送します。 ・説明・諸注意 13:45 ~ 13:55 ☆検定場所: 3階学習室 2&3 ・検定時間 14:00 ~ 15:30 (→キッズBEEは15時まで) ・連絡等 15:30 ~ 15:40 解散 15:40			
4回	7月13日(土) A組 ルービックキューブ B組 プログラミング	6月29日(土) A組 ポリドロン B組 グラフ通りに 歩こう	7月7日(日) 中1 小野小町とフリードマン 中2 暗号と数学 中3 中国剰余定理	7月21日(日) 算数オリンピック ファイナル大会 (東京)ただしトライアル通過者のみ
5回	8月10日(土) A組 アルゴゲーム B組 ジャマイカ	8月3日(土) 小学6年生特別講座 やっぱり算数って おもしろい 明星(めいせい)学苑 細水 保宏 客員教授	8月18日(日) 中1 素数について 中2 まま子立て問題 中3 整数の問題	2月と3月にチャレンジクラブ員を対象に特別講座を実施します。たくさんの参加をお待ちしています。

お願い2点

- ① 財団 Web ページの各学年のサイトに次回の講座内容、持ち物や注意点などを掲載しています。講座の日時の変更や中止の場合はメールでお知らせしますが、ご自分でも時々サイトを開いて、変更がないか確認をお願いします。
- ② 講座が始まってからクラブ員が来なかった場合、財団は学校と違ってお一人お一人の生存や所在を保護者にすぐに確認することができません。クラブ員の安全の確保と安心のため、欠席される場合は必ずメール(当日は電話)でご連絡をお願いします。

5年生・6年生の講座から

4月20日は5年生にとって初めての講座『テープの輪を使って』でした。2本のテープを輪っか状にして一か所を糊付けし、テープの中央線をハサミで切っていきます。それを広げると何と正方形が出来上がりました。くっつけ方やテープの長短によって、長方形になったりひし形になったりしました。切る前に形を予想するのですが、見事に裏切られ「こんな形になるなんて!!」と絶句する様子も見られました。『メビウスの輪』を作った時には、なぜかハートが二つくっついた『ラブラブ』ができた子と、ハートが二つに分かれた『ハートブレイク』ができた子がいて、ますます**フシギ??**の世界が広がりました。



(輪っかを切ったら正方形が現れたクラブ員↑)

5年生の2回目の5月11日(土)は『詰めアルゴ』の講座でした。白と黒の(それぞれ1~11が書かれている)カードが対戦するプレイヤーに配られます。それを左から右に数字の小さい順に並べた時に、裏返しになって見えないカードの数字を推理し解き明かすゲームです。どの数字から着目すると簡単に解けるのか、友達の発表を聞きながら必死に自力で解き明かそうとする様子が見られました。



(新しい仲間とはまだぎごちない様子、一緒に協力して解けるようになるのはいつかな?→)

5月18日の6年生講座A組では、『グラフ通りに歩こう』に取り組みました。さすが1年間、仲間と一緒に取り組んだだけではありません。みんなで考えた動きを、Fさんが「Tの次はE、その次はA、それからSが飛び上がろう、1秒ごとに。最後にKが走って行って滑り込む!!」と動きの指示を出していました。「せえの!」で電源ON、人の動きを感知して自動でグラフを作るグラフ電卓が描き出したグラフの出来栄が良いと、満足げな大きな笑い声が起こりました。



(チームワークもバッチリ、名前は愛称で意思疎通をはかり活動する様子↑)

同じ日のB組は、『二進数サイコロ』に取り組みました。二進数は5年生の時の活動でしっかりわかっているはずなのに、サイコロの数字を二進数の図形にすると再び**ハテナ??**の世界に引きずり込まれてしまいました。でも、1年間一緒に活動した仲間と意見を交換して、カンペキな理解に結び付けることができました。ラストに、普通にも二進数にも二段階で変身できるサイコロ作りをしました。



(幾何学模様の二進数の数字がいくつかを話し合うクラブ員→)